

# 論語の根本思想に触れて

出雲

## 閑谷学校の國友道一氏が講演

岡山県青少年教育センター閑谷学校の所長で、同校敷地内にある旧閑谷学校講堂(国宝)などで論語の講義を行っている國友道一氏が十七日、出雲市国富町の国富コミュニティセンターで講演会を行った。

講演会のタイトルは、孔子の思想の真髄とも言われる「仁」にちなみ「JIN」思いやりの心。今、なぜ論語が必要でしょうか。主催は、県内で論語学習の普及、指導者養成活動を行っている

めだか論語普及会(佐藤京子会長)。

この日は講演に先立ち、なの花保育園学童クラブ(松江市大庭町)の子どもたちが論語を素読、「過ちて改めざる是れを過ちといふ」という論語の一節をテーマにした人形劇を行い、会場に訪れた参加者らが盛んに拍手を送っていた。

もともとは英語の教師を務めていた國友氏。講演では「正直、論語とは無縁だと思っていた。論語の講義をするにあたって勉強を

していくなかで、その奥の深さを感じるようになった」と論語との出会いを説明。「二千五百年も前に残された論語には、今の世の中に

ピッタリとはまる言葉が多くある」とその魅力を解説し、「ただその言葉を知識として得るだけではなく、自分で考え、実践することで世の中に還元することが論語の根本思想と説いた。

佐藤会長は「論語に込められた思想を実践していく人が増えることで、思いやりの社会の醸成につながれば。ぜひ多くの方に仲間になってほしい」と話していた。

講演を行う國友氏

17日、出雲市国富町、国富コミュニティセンターで

